

目標達成計画

事業所名 グループホームけあふる

作成日: 令和 3年 3月 15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍の終息後は、地域との交流を再開することを期待する。	コロナ禍により、家族を含めた訪問者へ対して制限を行っている。ただし、施設の玄関でのやり取りは行っている。	ワクチンの接種が実行されて、コロナ禍も終息し、国や行政で緩和の方針が打ち出されれば、地域との交流を再開する予定である。	1年
2	4	コロナ禍による運営推進会議は書面会議で構わないが、定期的な運営状況の報告書の作成と報告は義務であり、今までのまとめと今後に於いての報告書の作成と報告を期待する。	今後は、「定期的な運営状況の報告書の作成」を実行していく。	コロナ禍で外部の人間(町内会・家族・包括支援センター職員等)を集めての運営推進会議は実行できなかった。しかし、コロナ禍が終息した後は再開し、併せて報告書を作成し保管していく予定である。	3ヶ月
3	6	身体拘束適正化委員会を支給に設置して、3ヶ月に1回事例検討会を行って、定期的な研修会も行うなどして身体拘束をしないケアに取り組むことを期待したい。	身体拘束適正化委員会を設置する。3ヶ月に1回事例検討会を行う。	身体拘束適正化委員会を早急に設置し、事例検討会を3ヶ月毎に開き報告書を作成する。また、研修等を実施して報告書を作成する。	3ヶ月
4	35	災害に対する避難訓練は、火災と自然災害と年間通して定期的に行うことが義務な為、災害対策として至急に計画を立案し関係機関の指導を受け実施するよう期待する。	災害に対する避難訓練は消防署と協議しているが、コロナ禍の影響で今までは実施していない。	今年からは更に消防署と協議を行い、年2回の避難訓練を実施する予定である。	1年
5	49	コロナ禍の終息後は家族の協力も得て外出の企画を立て、実行することを期待したい。	コロナ禍の影響で、国や厚生労働省からの指導もあり、外出の機会がなかった。	今年からはコロナ禍が終息した後、家族等と話し合いながら外出の企画を徐々に立てていく予定である。	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。